

## 日本BBB連盟様

先日、盛岡BBBの佐々木さんより義援金を受け取りました。

岩手大学四年の中島海帆(三志)と申します。この度は私達被災者のために、全国の皆さんからこうした温かい支援の手を差しのべていただき、本当に有難い気持ち一杯です。本当にありがとうございます。いま、私は現在、奨学金の審査中ということもあり、は送りがまじくもなく、生活費を全て自分で賄わなくてはならない現状にございまして。今回の義援金は有難く、生活費や自己投資資金として、活用させていただきます。高校生の妹、弟にも、こうした経緯で義援金をいただいた旨を伝え、それをおこづかいとして一万円ずつ受渡し致しました。本人達は直に母に預け、家を建てる資金にと回してくれたいようです。

私の実家は岩手県大船渡市(沿岸南部)にあり、津波で家と自営の釣具店を失いました。私の生まれ育った故郷は跡形もなく更地へと変わってしまいました。たが、それでも恋しい故郷です。私自身、名前には「海」を背負う以上、切っても切れな

海との縁、宿命であると同時に、恨めしい反面、やはり恋しい海とのつながりを、大切にしていきたいと思ひます。

私は現在、BBSの活動として、津波で流されてしまった母校、高田高校とのつながりを持つ活動に参加しています。東京のNPO団体、bonds(ボンド)と連携して、パワフルな高校生達と一緒に、様々な企画を現在考察中です。そうして大船渡を、高田を元気にしていくつもりです。こうした社会貢献をもつて、この度の義援金に対し、私なりの恩返しに、代えさせていただきます。(ちなみに、高田高校には姉弟も現在通っています)生きがいと、希望を、BBSからいただきました。全国の会員の皆さん、本当にありがとうございます。そして、これからも東北を、この震災をバネにして、生きる東北人の姿を、忘れないで下さい。皆さんのたくさんの温かい心で、東北は今、立ち上がりつつあります。どうかその灯火を、絶やさないうで下さい。私達も様々な形で、これから恩返しをしていきます。エネルギーを分けて下さうた

皆様には感謝し切れません。

本当に 本当にありがとうございました。

皆様のこれからの未来にも、東北の未来にも、多くの幸が舞い降りて来ますように。

遠く岩手の地より

平成二十四年五月吉日

中島海帆